



平成 20 年 3 月 11 日

各 位

グラント・ファイナンシャル・アドバザリー株式会社
代表取締役 佐藤 明彦
(JASDAQ・コード番号：8783)
問い合わせ先 取締役 平野 公久
電話 03-5532-1031

平成 20 年 3 月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 19 年 5 月 18 日付にて発表いたしました平成 20 年 3 月期通期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期通期業績予想の修正等（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：千円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり期末配当金
前回予想 (A)	510,000	240,000	240,000	142,000	1,500 円
今回修正 (B)	260,000	73,000	73,000	44,000	1,000 円
増減額 (B-A)	△250,000	△167,000	△167,000	△98,000	△500 円
増減率	△49.0%	△69.6%	△69.6%	△69.0%	—

2. 業績修正の理由

この度の業績修正につきましては、米国に端を発するサブプライム・ローン問題による世界的な金融市場の混乱により金融機関が不動産関連融資に対して慎重となっていることや、平成 19 年 9 月に施行された金融商品取引法の影響による不動産投資への手控えにより証券化手法によるファイナンス案件が停滞していることなどの外部環境や、人員計画の未達等が大きな要因となりました。

営業収益につきましては、特に下半期において、上記外部環境要因が影響し、不動産証券化・流動化案件について見込み通りの組成案件の受注が出来ないため、通期予想を 260,000 千円に修正いたします。

営業費用につきましては、人件費を中心に当初予想を下回る見込みですが、営業収益の減少により、営業利益、経常利益、当期純利益の通期予想をそれぞれ修正いたします。

上記の外部環境は当面の間継続し、これに起因する問題の收拾には一定度の期間を要するものと見込んでおります。今後の取り組みにつきましては、組成業務獲得に繋がる投融资案件を増加させると共に、案件組成能力の強化を図って取扱案件数を増大させ、業績改善をして参る所存です。

3. 配当額修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を重要な課題と認識しており、事業基盤の強化と事業展開に必要な内部留保の充実を考慮しつつ、利益の成長に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。この方針のもと、配当につきましては、財務状況及び業績等を総合的に勘案しつつ株主資本配当率を参照指標として安定的に行うこととし、当期の期末配当金予想を1株当たり1,500円と発表して参りましたが、前述のとおり当期業績につきましては、予算未達となる見込みとなったため、配当予想を減額修正いたします。

4. ご参考：前期の実績

(単位：千円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり期末配当金
前期実績 【平成 19 年 3 月期末】	490,727	238,853	239,825	139,714	1,500 円

(注) 上記の業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上